

# KURODA

特別展

誕生150年

# 黒田清輝



教科書でみた、  
ホンモノをみた。



日本近代絵画の巨匠

# SEIKI

Master of Modern Japanese Painting: The 150th Anniversary of his Birth

2016年  
3月23日[水] → 5月15日[日]

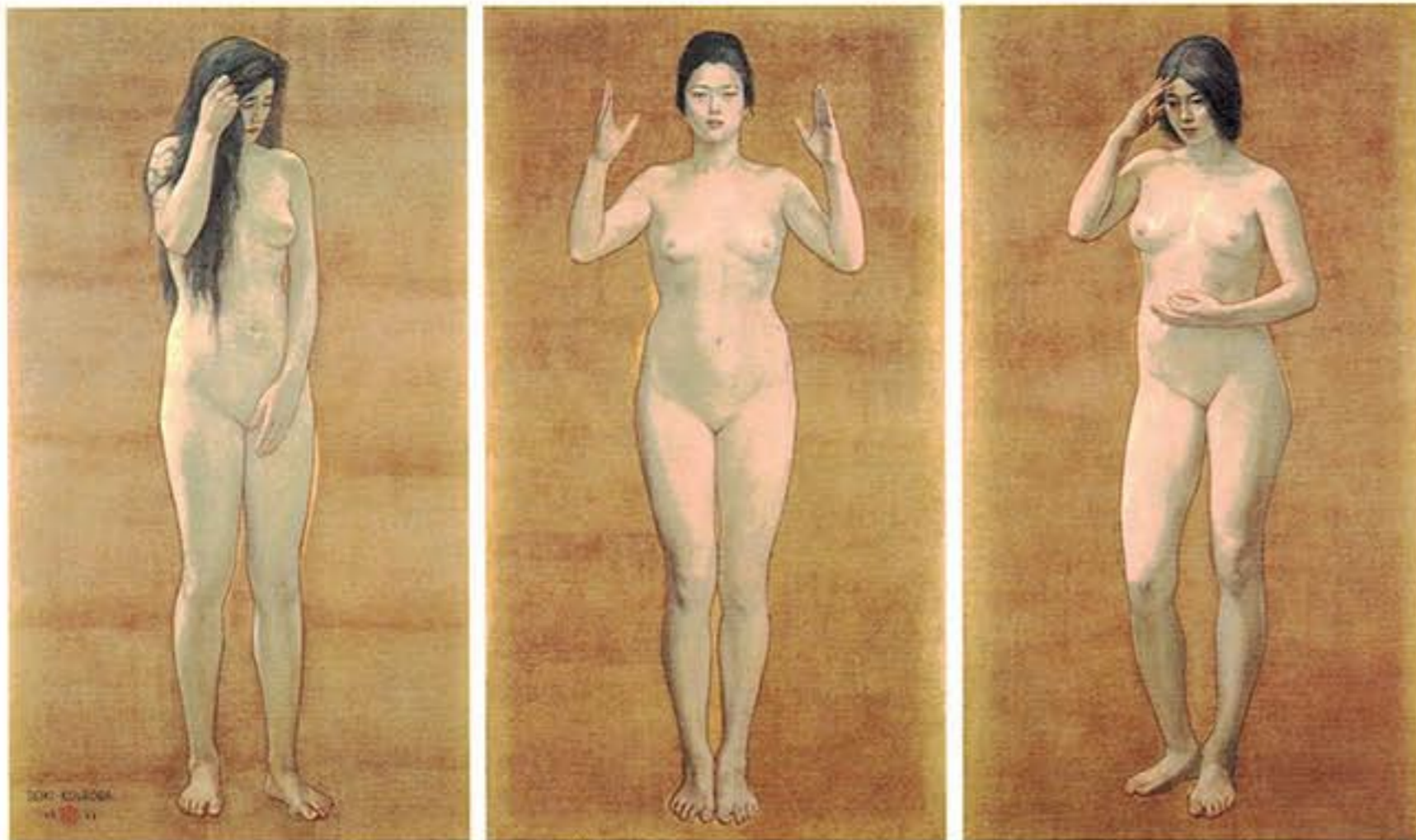
開館時間：午前9時30分～午後5時 ※金曜日は午後8時、土・日曜、祝日は午後6時まで ※入館は閉館の30分前まで / 休館日：月曜日 ※ただし3月28日(月)、4月4日(月)、5月2日(月)は開館、5月6日(金)は休館  
主催：東京国立博物館、東京文化財研究所、朝日新聞社、NHK、NHKプロモーション  
協賛：大日本印刷 協力：あいおいニッセイ同和損保

トーハク初セイキの集大成

東京国立博物館 平成館

TOKYO NATIONAL MUSEUM (Ueno Park) 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

# 絵筆で明治を開いた男、国立博物館初の大回顧展。



「湖畔」で広く知られ、日本美術の近代化のために力を尽くした黒田清輝(1866-1924)の生誕150年を記念した大回顧展です。フランスへ留学した黒田は、師ラファエル・コランや同時代のフランス絵画に刺激を受けながら、サロンに入選を果たします。帰国後には、印象派風の明るい光の表現を取り入れた黒田の画風が、日本の洋画界に新風を吹き入れました。さらに東京美術学校で教育を任せられ、日本洋画のアカデミズムを築きます。そして日本美術を国際的に認められるものにしようと苦闘しながら制作にはげんだのです。

この展覧会は師コランやミレーなど、フランスで出会い導かれた作品を合わせて展示しながら、留学時代の「読書」「婦人図(厨房)」や帰国後の「舞妓」「智・感・情」などの代表作によって、黒田清輝の画業全体を振り返ろうとするものです。



師コランやミレーの名作もオルセー美術館から特別出品。



## KURODA 生誕150年 黒田清輝 SEIKI, Master of Modern Japanese Painting: The 150th Anniversary of his Birth 日本近代絵画の巨匠

展覧会公式サイト <http://www.seiki150.jp/>

表面/左:○《湖畔》(部分) 1897年 東京国立博物館蔵 右:《読書》(部分) 1891年 東京国立博物館蔵/1.○《智・感・情》 1899年 東京国立博物館蔵/2.《婦人図(厨房)》1892年 東京藝術大学蔵/3.○《舞妓》 1893年 東京国立博物館蔵/4.《自画像(ベレー帽)》 1897年 久米美術館蔵/5.《自画像》 1915年 東京国立博物館蔵/6.《フロレアル》ラファエル・コラン 1886年 オルセー美術館蔵(アラス美術館寄託) ©RMN-Grand Palais (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF/7.《羊飼いの少女》ジャン・フランソワ・ミレー 1863年頃 オルセー美術館蔵 ©RMN-Grand Palais (musée d'Orsay)/Michel Urtado / distributed by AMF  
※作者名の記載のないものは黒田清輝の作品 ※○は重要文化財を表す

観覧料(税込)	当日券	前売券	団体券
一般	1,600円	1,400円	1,300円
大学生	1,200円	1,000円	900円
高校生	900円	700円	600円

※中学生以下無料 ※団体は20名以上 ※障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) ※前売券は、2016年1月23日(土)から3月22日(火)まで発売 ※チケット取り扱い:東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドほかで販売

**TNM 東京国立博物館** 平成館 [上野公園]  
TOKYO NATIONAL MUSEUM (Ueno Park)

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9  
お問合せ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)  
東京国立博物館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>



[交通案内] JR上野駅公園口、鶯谷駅南口より徒歩10分/東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅、東京メトロ千代田線根津駅、京成電鉄京成上野駅より徒歩15分